

# データサイエンスに強い 日本工業大学

社会課題を解決するためにデータサイエンスを専門的に学ぶ

**新設** 2022年4月  
データサイエンス学科

データサイエンスをそれぞれの専門分野で活かす

**スタート** 全学部学科対象  
『データサイエンス・プログラム』

## NIT Open Campus

日本工大には、ここでしか得ることができない  
さまざまな魅力があります。  
オープンキャンパスで是非その魅力を体感してください

**7.10** **8.21** **22**

※詳細は本学Webサイトをご覧ください

基幹工学部

- ・機械工学科
- ・電気電子通信工学科
- ・応用化学科

先進工学部

- ・ロボティクス学科
- ・情報メディア工学科
- ・データサイエンス学科 **NEW**

建築学部

- ・建築学科
- ・建築コース
- ・生活環境デザインコース

# 日本工業大学

埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1 <http://www.nit.ac.jp>

大宮から  
**29分**

新白岡駅まで  
JR 上野東京ライン・湘南新宿ライン・宇都宮線で  
17分 + スクールバス 12分

北千住から  
**44分**

東武動物公園駅まで  
東武スカイツリーライン（急行）で  
39分 + スクールバス 5分

※列車の運行状況により異なる場合があります。

# TRAIN LABO NO. 28

基幹工学部 応用化学科  
資源創回生プロセッシング研究室

Webで動画を公開中!

NIT トレインラボ で検索



よくよく見れば、貴重な資源！  
**隠れている**  
お宝のリンを回収だ

私たちが日々摂取している必須ミネラルのうちカルシウムに次いで多いのは「リン」だ。リンは農業分野で肥料の重要な要素でもありさらに、工業分野でも半導体や燃料電池など、その活躍の幅は広い。

リンは地球規模では、魚や鳥を經由したり地殻変動などによって何億年かの単位で循環すると言われるけれど

現在の世界中の利用ペースではとても間に合わない。天然の資源の量には当然限りがある。

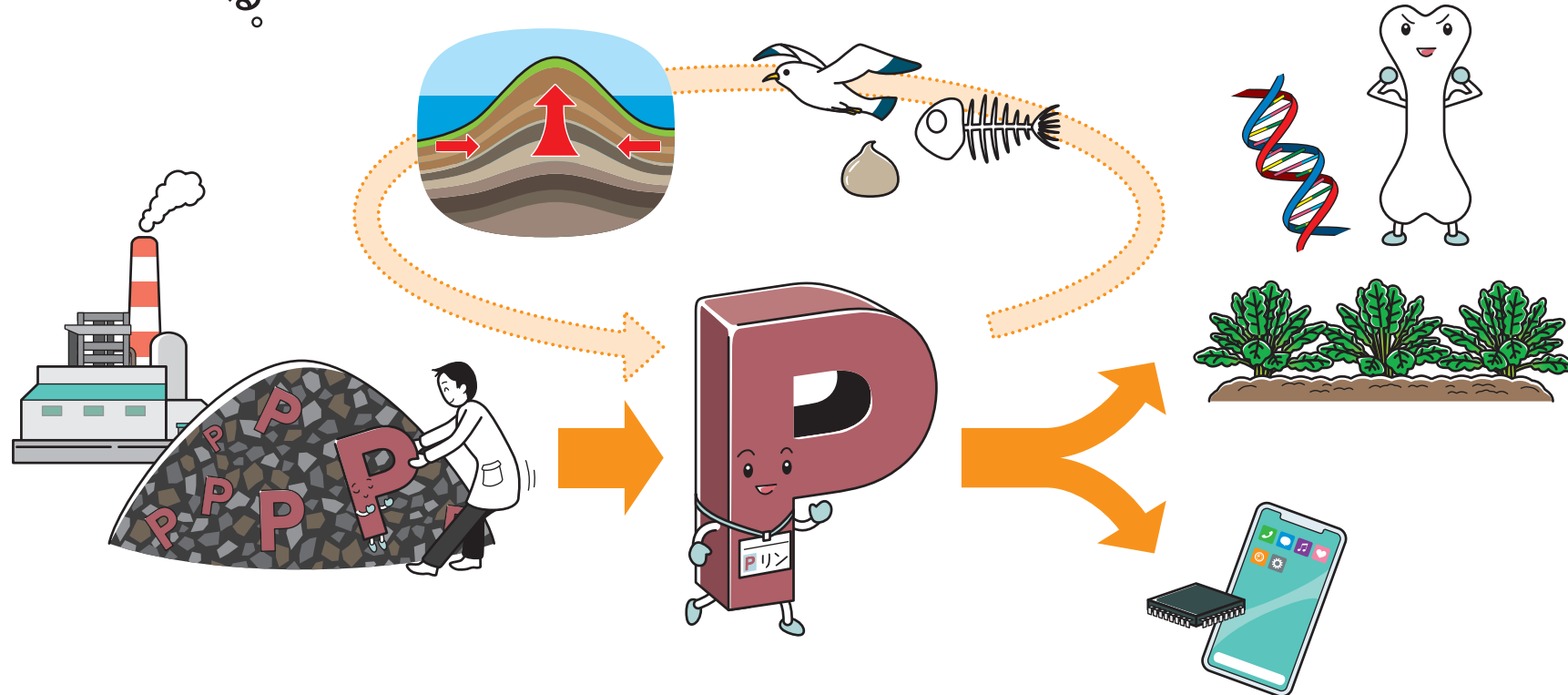
そこで、私の注目するのがリンを含む産業副産物だ。

例えば、鉄の製造時に発生する鉄鋼スラグや下水処理時に発生する下水汚泥の中には多量のリンが眠っている。

私は、これまで利用の難しかった「もったいない」リン源から、どれだけ上手にリンを回収できるかを研究している。

不要なものでも、別の世界では必要とされるものがある。見過ごされているものから、別の場所で輝ける存在へ。持続可能な社会へ向けて、もっと資源を再利用していく方法をこれからも追い求めたい。

内田 祐一（基幹工学部 応用化学科 教授）



車内の携帯電話のご利用マナーにご協力ください。